

# 一般質問

6 赤木 武男(公明党)



● 単独浄化槽から合併浄化槽への転換を  
● 小中学校への携帯電話持ち込みについて  
● 学校に貸し出し傘(置き傘)の配備を



**赤木** 単独槽から合併槽への転換の現状と、転換が進まない要因について伺う。

**水道局長** 平成27年度から令和元年度までに、42基が合併槽に転換。5人槽では約50万円を補助しているが、進まない。住宅リフォーム制度との連携も図りたい。

**赤木** 単独浄化槽の転換に伴う自宅内配管工事費の軽減策として、新たな補助金の拡充は。

**水道局長** 転換促進の阻害要因に宅内配管工事費の負担があるため、補助金交付要領を改正し、来年度から新たに上限を30万円とする補助を行う。

**赤木** 文部科学省は、登下校中の児童生徒の安全面で有効であり、安心につながるとし、7月の通知で携帯の持ち込みを例外的に認めただが、教育委員会の認識は。

**教育部長** 学校と生徒、保護者との間でフィルタリングなどに合意し、必要な環境整備等が講じられ

る場合に認めるなど国・県の方針を踏まえ、基本方針を策定する。

**赤木** 小学生が傘もささず、びしょ濡れで下校していた。子どもの健康や安全を考えると、貸し出し傘の配備はぜひ必要と考えるが。

**教育部長** 下校時の急な降雨の対応は、学校メールなどで各家庭と連絡を図り、子どもたちの安心・安全を第一に対応する。

**赤木** 若い子育て世帯は共働きの家庭が多く急な連絡には対応できない場合がある。家庭や民間事業所などにも協力をいただき、貸し出し用の傘を確保すべき。



7 益田 政昭(市民クラブ)



● 7月豪雨における災害状況、要因、復旧状況、今後の対応について  
● コロナ禍における商品券事業について



**益田** 熊本豪雨は災害指定を受けたのか。

**防災危機管理課長** 7月には特定非常災害に、8月には激甚災害へ指定された。

**財政課長** 復旧の特定財源については、国庫補助と災害復旧事業債を予定している。

**益田** 家屋被害の状況は。

**防災危機管理課長** 半壊88棟、一部損壊83棟、床上浸水144棟、床下は287棟。

**益田** 被災者の支援策は。

**健康福祉部長** 国の被災者支援制度の改正を受け、対応する。本市は市税の一部、「国保税」「介護保険料」等の減免や災害見舞金、災害義援金で支援する。

**産業政策課長** 「なりわい再建補助金」で対象経費4分の3を補助、コロナの影響を受けた事業者には、利子補給など支援する。

**益田** ボランティアの活動が目立ったが、社協と若者の連携はと



▲魚貫町の陥没した道路

れたか。

**健康福祉部長** 社協は136世帯を支援し、延べ663名のボランティアに協力をいただいた。

本市も毛布、タオル、シートなど、支援を行った。

**益田** コロナ禍は今後も続くことが予想されるため、地元事業所を支援する商品券事業を継続すべき。

**市長** 事業の成果等について検討し、来年度の実施を判断する。

8 蓮池 良正(日本共産党)



● コミュニティ行政について



**蓮池** 高齢化の進行する天草市地域では、オンデマンド的な交通ルール整備が求められていないか、以前から申し上げてきた。

本市も交通安全の観点から、高齢の方々の運転免許証の返納を推奨している。報道される交通事故の分類でも、逆走や交通ルール違反が、高齢に伴い増加する傾向にあり、ご高齢のドライバーを含む家族会議等でも喫緊の課題となってきた。

市内各地域には運転免許証を所有した方が一定数おられ、利便性の構築に有効な方向性をもつ。

どこかの地域で実証実験的な運行を始め、近い将来、全域的な運行ができれば、路線バスが減少する不慣れた状況を補えるのではないかと。ワンコイン程度の利用料金で、利用者には、負担軽減となるとともに、運転者には、少額ながら最低賃金程度の補償がされるものと期待される。



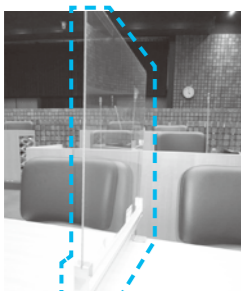
**地域振興部長** 地域住民が主体となった交通サービスは、キーマンの存在や運転手の確保、予約や相乗りの運用システム構築、相乗りの交通事故のリスク管理など、解決すべき課題がある。そのような課題が解決され、地域内の合意形成ができれば、まずは実証実験から始めるなどして、実施に向けて支援していきたい。

# 市議会のコロナ対策

## コロナ禍



▲議場での予算決算委員会審議の様子



▲飛沫対策の  
間仕切りパネル



▲議場入口に設置の  
消毒液

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、天草市議会では、議員各自が健康管理と感染予防対策を徹底するとともに、議場などでも予防対策をとっています。今回は、第6回定例会の予算決算委員会のような様子をご紹介します。

通常、第1委員会室で開催する本委員会ですが、密を避けるため、委員会室の倍以上の広さがある議場に変更しました。また、議場内の議員席と執行部席には飛沫対策として、間仕切りパネルを設置しています。

このほかに、本会議や常任委員会などに出席の際は健康観察を行い、各会議室等の入室の際は、手指消毒も徹底しています。

第6回定例会においても、本会議の傍聴自粛にご協力いただき、ありがとうございました。